

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0036

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	先端国際共同研究推進事業/プログラム			担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	令和14年度	担当課室	参事官(国際戦略担当)付	参事官(国際戦略担当) 大土井 智			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 成長戦略実行計画(令和4年6月7日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年の地政学的変化を受け、我が国は国際共同研究の相手国として、欧米等先進国から高い期待が寄せられている。一方、国際共著論文数が諸外国と比べて相対的に低下、研究者交流の停滞など、日本の科学技術力の諸指標に急落が見られるように、現在、我が国は世界の国際頭脳循環のネットワークの中に入っていない。そこで、本事業は、日本人研究者の国際科学トップサークルへの参入及び若手人材の育成機会の創出、欧米等先進国との研究開発成果創出を目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高い科学技術水準を有する欧米等先進国を対象として、政府主導で設定する先端分野における大型国際共同研究への支援を行う。我が国と共同研究相手国のファンディングエージェンシーと協働しつつ、課題単価(最大1億円/年・課題程度)や支援時期等の柔軟な設定をすることで、より戦略的・機動的な国際共同研究を支援する基金を造成する。本事業における国際共同研究を通じ、日本人研究者の国際科学トップサークルへの参入促進、また、両国の優秀な若手研究者の交流・コネクションの強化を図り、国際頭脳循環の推進及び長期的な連携ネットワークの構築に貢献する。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	-	-	-	50,050			
		令和4年度 第2次補正予算	-	-	-	50,050			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	50,050			
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
	当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	-	-					
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由						
	先端国際共同研究推進基金補助金	50,050							
	計	50,050							
活動内容 (アクティビティ)	内閣府主導の下で設定した先端分野の国際共同研究について、原則5年間、各国の有力資金配分機関から十分な研究資金を得ている各国トップ研究者との連携を希望する日本側研究者チームへの支援を実施する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	国際頭脳循環の指標等について来年度末を目処に検討中。		活動実績	-	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	/			単位当たり コスト	-	-	-	-	
	/			計算式	/	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 9年度	目標最終年度 14年度
	国際頭脳循環の指標等について来年度末を目処に検討中。		成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	文部科学省「研究者の交流に関する調査」、文部科学省科学技術・学術政策研究所「科学技術指標」								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	政策7 イノベーション創出に向けたシステム改革		
		施策	施策7-3 科学技術の国際活動の戦略的推進	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20200930-mxt_kanseisk02-000010162_01.pdf
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-	-
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-
2021		該当箇所	-	-	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業では、社会的に問題視されている、日本の相対的な研究力低下の傾向に歯止めをかけ、国際競争力を確実に高めることが期待できる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、日本人研究者の国際科学トップサークルへの参入及び若手人材の育成機会の創出に係る事業であり、高い期待に応えるためにも、国同士の協働が必要である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は我が国の研究開発成果創出に係り優先度の高い事業であり、日本人研究者の国際科学トップサークルへの参入促進等に貢献するものである。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	

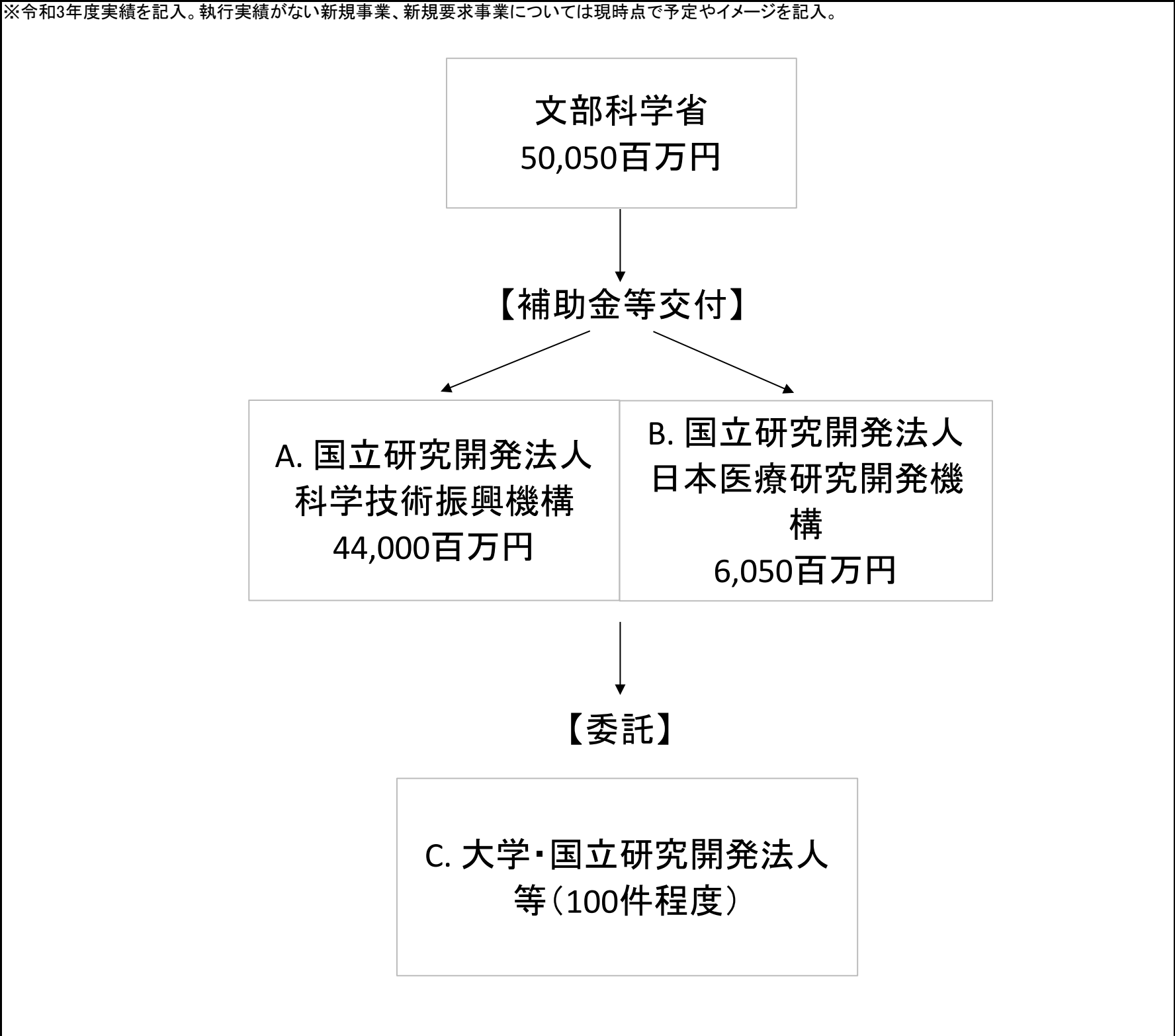
備考

--

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	-		
平成27年度	-		
平成28年度	-		
平成29年度	-		
平成30年度	-		
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立研究開発法人 科学技術振興機構			B.国立研究開発法人 日本医療研究開発機構		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
C.大学・国立研究開発法人等					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
-	-	-			
計		0	計		0

